

町長就任

令和3年8月2日 就任

選挙結果（令和3年7月18日）

- 投票率 53.13%
- 得票数 5,478票（有効投票数7,135票）



所信表明

令和3年度当別町議会9月定例会にて所信表明

【6つの目標】

- アフターコロナを見据えた地域づくり
- AI技術が浸透した生活スタイルに対応できる子どもたちの育成
- 寄り添った福祉の充実
- 稼げる産業の育成
- 災害に強いまちづくり
- 行政サービスの質の向上

【4つのファースト】（上記の目標を達成するために）

- チャイルドファースト
- ハートフルファースト
- クオリティファースト
- デジタルファースト

4つのファースト

チャイルドファースト

★子育ての不安を払拭し、出生数の増加に繋ぐ

★小中一貫教育等の魅力的な教育環境を発展させ、町外から子育て世帯の転入を図る

○出産時のサポート ○幼児教育・保育の環境整備 ○乳幼児の医療環境や費用面の支援充実 ○一貫した義務教育環境の整備 ○高校・大学進学する際の支援体制の充実

ハートフルファースト

★道の駅オープンや花火大会等の人を呼び込む取組みにより、交流人口が飛躍的に増加

★個々人の健康増進と町内コミュニティのあり方を検証し、住み続けたい魅力ある町にすることで、「交流人口の増加」を「定住者の増加」へと展開する

○ふるさと納税の寄付者や道の駅のリピーターなどを準住民として扱い、関係人口を拡大 ○医療・介護施設の誘致や、在宅医療の推進等、「常に寄り添う福祉」の成熟

○本庁地区中心市街地、ロイズタウン駅・道の駅・太美駅周辺エリアを、デジタル技術を活用した人を呼び込むエリアとして発展させる

クオリティファースト

★当別町が有する潜在能力や優位性を見極め、産業の質を更に高めるための仕組みを再構築

○町、農業団体、農業者が目指すべき将来像を共有し、取り組みを進めていけるよう議論を重ねる ○産業の収益性を高めるためにデジタル技術を導入

○町内経済団体はもとより町外企業も巻き込み、農商工の連携や、2次・6次産業化のモデルになるような取り組みを進める

デジタルファースト

★目標や視点を高い次元で実現させるためにデジタル化が重要

○学校教育における「GIGAスクール」環境の最大活用 ○「スマート農業・林業」の推進 ○防災・減災・災害時生活支援のためのシステム化

○町民生活を支える行政システムにおける「DX・デジタルトランスフォーメーション」

○AI-OCRや、RPAの技術を積極的に導入し、役場業務の効率化、行政コストの削減を図る

チャイルドファースト

★子育ての不安を払拭し、出生数の増加に繋ぐ

★小中一貫教育等の魅力的な教育環境を発展させ、町外から子育て世帯の転入を図る

移住促進

新築・中古住宅購入支援

新築住宅について、令和4年1月からスタート！

現在、対象期間を令和9年3月31日まで延長

【目的】 町外からの移住による人口増加や、町民の定住促進を図る
第6次総合計画に掲げる定住人口の 目標達成を目指し、
「地域経済の活性化及び活力あるまちづくりの推進に寄与」

【支援金交付の状況】 交付者合計

228世帯（175,400千円）

うち189世帯508人が町外からの転入

	世帯	人数	転入者	40代以下
R3度	4	16	16	15
R4度	87	261	213	201
R5度	80	214	178	155
R6度 (中古)	57 (18)	144 (39)	101 (18)	108 (29)
計	228	635	508	479

【これまでの振り返り（税収関係）】

R3、R4年度の交付対象者91世帯（転入76、町内15）の状況を調査

	固定資産税		町民税		合計	
	転入	町内	転入	町内	転入	町内
対象世帯全て	5,434	1,182	20,066	2,611	25,501	3,794
高額納税世帯除く (※)	5,182	1,182	8,971	2,611	14,154	3,794

税収増加となるのは、固定資産税(転入・町内)と、町民税(転入)の部分(赤枠)

5,182千円+1,182千円+8,971千円=15,335千円

支援金総額(R3,R4) 76,550千円 ÷ 税収増加額 15,335千円 = 4.9 ÷ 5年 で回収できる

内) 中古住宅購入支援

※令和6年度から中古住宅を対象に追加

【目的】 新築住宅建築費用等の上昇に伴い、中古住宅に対する需要が高まっていることから、
支援を実施することで 移住者の増加を図る

子育て・教育環境発展

※保護者の所得制限を撤廃

令和6年8月1日診療分より

対象者	診療内容	自己負担額
小学校卒業まで ↓ 18歳の年度末まで 拡大	通院費	初診時一部負担金 医科 580円 歯科 510円 柔整、はり・きゅう 270円
18歳の年度末まで	入院費	自己負担なし(全額助成)



令和4年度

【保育業務のICT活用】

町内の認定こども園「当別夢の国幼稚園」と「おとぎのくに」では保育周辺業務にICTを活用したシステムを導入。保護者の利便性向上や、保育教諭の負担軽減が図られている

令和4年4月8日 とうべつ学園 開校

令和6年4月以降 高校生の通学定期代の一部を助成

令和6年4月5日 おとぎのくに新園舎 入園式

【高まる保育ニーズに対応】

太美地区の子育て世帯転入者の増加に対応するため、0～1歳児が使用する乳児室・ほふく室の面積を拡大。2～5歳児室はそれぞれ最大2部屋にすることで、園全体の認可定員は50人増

令和6年8月分より 当別町子ども医療費助成の対象を拡大

▼欠席・遅刻などをスマホで連絡 ▼通園バスの運行情報をリアルタイムで確認



アプリで出欠を登録。



バスを利用しない保護者はタブレットで登園を記録。

まもなくバスが到着します。

路線名: 青コース 朝
停留所:
設定: 5分前設定

バスの現在位置を知りたい方はこちらから
<https://buscatch.net/mobile/tobetsusuyumenokuni0235?u=cdd244bd4596e11224212>

アプリに到着通知が来ます。



義務教育学校
とうべつ学園
開校



認定こども園
おとぎのくに
新園舎

【目的】 高校進学後の通学に係る費用負担が大きいことを懸念する声が多いなか、物価高騰による子育て世帯の経済的負担を軽減し、定住促進を図る札幌市近隣自治体で同様の制度を実施している自治体は少数であり、差別化を図る。

【札幌市との差別化】

札幌市では定期代13,000円/月を超えた分の1/2額を補助。

当別は基準額を10,000円に設定し、超えた分の2/3額を補助。

【R6年度事業費】 町外へ通学する311人中、半数以上の176人が支援対象となる。

(現在当別町在住の高校1～3年生の実際の在籍状況より試算)

9,600千円 (8,661,600円×1.1=9,527,760円)

参考: 広報とうべつ2022年5月号、2023年2月号、2024年5月号
当別町企画部セールス戦略課作成資料

当別町の支援

支援金額: 10,000円を超えた額の2/3

超過分

10,000円

} この額の2/3

年間支援見込み額: 8,661,600円

1人当たり4,100円/月

対象者: 本町地区 112人(188人中)

太美地区 64人(123人中)

合計 176人(311人中)

教育の充実

町内の小中学校の推移

昭和40年 小学校15校 中学校 9校

平成28年 小学校 2校 中学校 2校

令和 4年 義務教育学校 1校 小学校 1校 中学校 1校

当別町で進める小中一貫教育

【ドリカムプロジェクト】小・中学校で家庭学習の方法や板書の仕方など、統一性のある学習規律の定着を図る

【児童の中学校登校】中学校生活への不安解消と中学校教員による専門的な指導に触れることを目的として、6年生の中学校登校と部活動体験を実施

【中学校教員による授業】中学校教員が小学校に出向き、専科制（教科担任制）を意識した授業を実施

【小中交流事業の実施】小学校5・6年生が中学校に登校し、中学生と一緒に「人としての生き方」をテーマとした講演を聴講。後半は、児童会・生徒会が共同で企画運営し、小中学校で行われているいじめ防止に向けた活動の紹介や「いじめ撲滅宣言」を採択するなど、小中合同の学びや活動を展開

【スポーツフェスティバル】小学校運動会に代わり、「主体的・対話的で深い学び」を意識したものとして企画

小学生自身が考えて行動する様子や中学生・地域の方が参加するなど、一体型義務教育学校を見据えた行事に

町との主な連携

【社会教育課との連携】

①地域学校協働本部事業（学校支援ボランティア派遣） ②放課後学習会（3校）、土曜教室、巡検の実施 ③イングリッシュプロジェクト ④学校図書館への指導・助言
⑤各校への司書派遣

【子ども未来課との連携】

①子どもプレイハウス運営 ②幼保小接続プログラムの作成・検証 ③子ども発達支援センターによる療育支援 ④学校や行政と連携した児童生徒・保護者の支援

教育の充実

食育

令和3年6月と7月に当別町食生活改善協議会の方々を招き、
「食事のマナーに関する〇×クイズ」や、はしを使って豆やスポンジを運ぶ練習を行った



プログラミング教室

【目的】プログラミング的思考（目的達成のために、どのような動きをどのように組み合わせれば良いか論理的に考える力）を身に付けさせる。

OD－SCHOOL（サツドラHDとの包括連携協定による取り組みの一環として）

OSTEAM教室（令和4年11月26日開催）

LEGOブロックをプログラミングで動かすキットを使い、組み立てた車に指定の道を走らせる等のプログラミングを体験。

食育推進事業「とべっこランチ」

令和4年4月から開始

毎月1回、町や姉妹都市の食材、旬の食材を使用したおかずや、デザートなどを出す特別な給食

町内の児童が食育の授業で考案した当別町産のじゃがいもや大豆を使用したメニューも登場！

4月26日（水）



メニュー



いりこ菜飯

ゆとりっちいも団子汁



手作りとんかつ（浅野農場）

きゃべつサラダ



シフォンケーキ（藤澤製菓）

教育環境の充実

西当別中学校教室改修

【目的】居室の一つを改修し、普通教室及び多目的教室として使用できる教室整備を進め、学習環境の整備を図る

【内容】令和7年度は新3年生の普通教室として使用するとともに、令和8年度以降は多目的教室として使用することを念頭に置いた改修を行う

【目標】令和7年度においては、現在37人学級となっている新3年生の教室として、令和8年度以降は全学年が使用できる多目的教室として使用することで、学習環境の改善を図る

学校施設におけるエアコン設置

【目的】居室の一つを改修し、普通教室及び多目的教室として使用できる教室整備を進め、学習環境の整備を図る

【内容】令和7年度は新3年生の普通教室として使用するとともに、令和8年度以降は多目的教室として使用することを念頭に置いた改修を行う

【目標】令和7年度においては、現在37人学級となっている新3年生の教室として、令和8年度以降は全学年が使用できる多目的教室として使用することで、学習環境の改善を図る

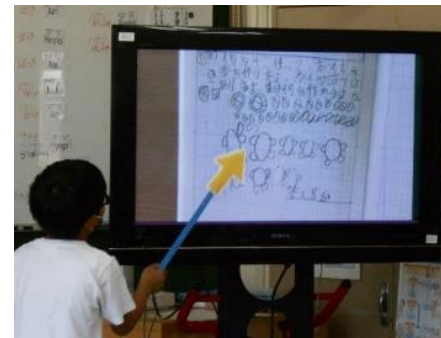
教育環境のDX化



リモート授業



オンライン交流



ICTを使った授業



各企業との協定

包括連携協定



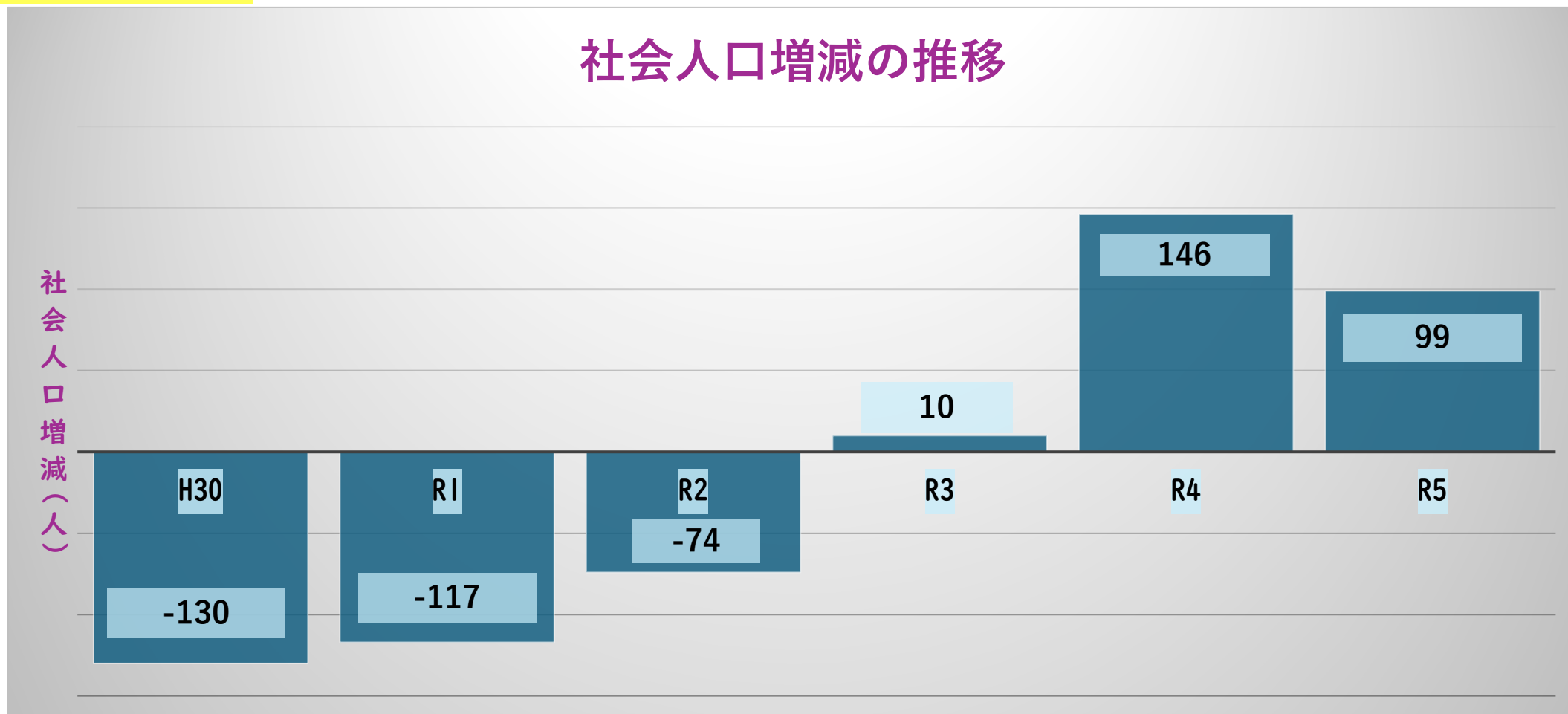
サツドラホールディングス株式会社
「包括連携協定」

令和5年2月7日

- 未来を担う人材の育成
- 安心して子育て・教育ができる地域社会の形成
- 健康増進・町民サービスの向上
- デジタル技術を活用したまちづくり 等

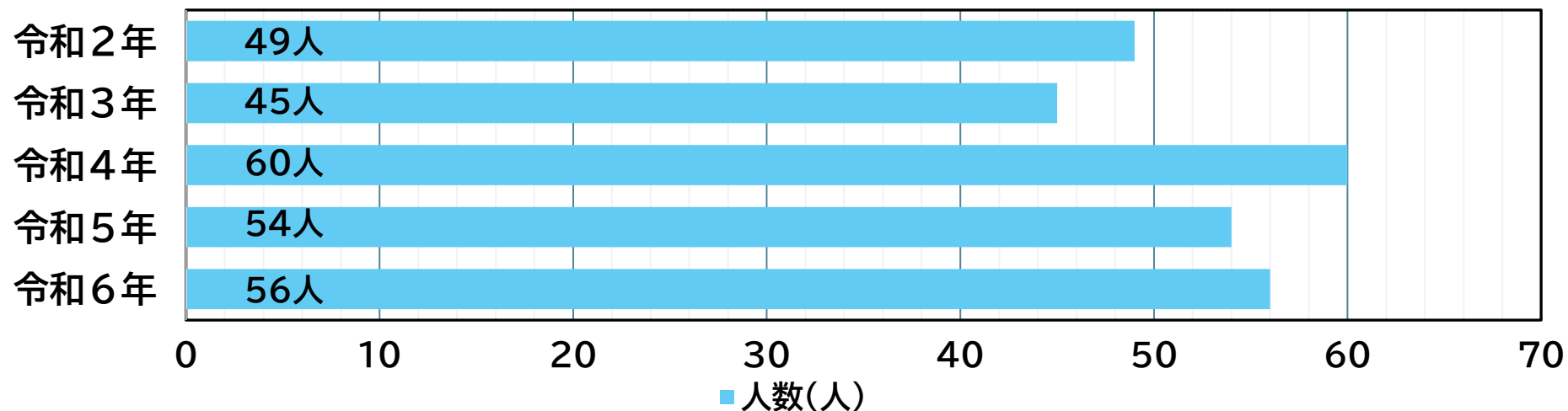
町内人口社会増

3年連続社会増

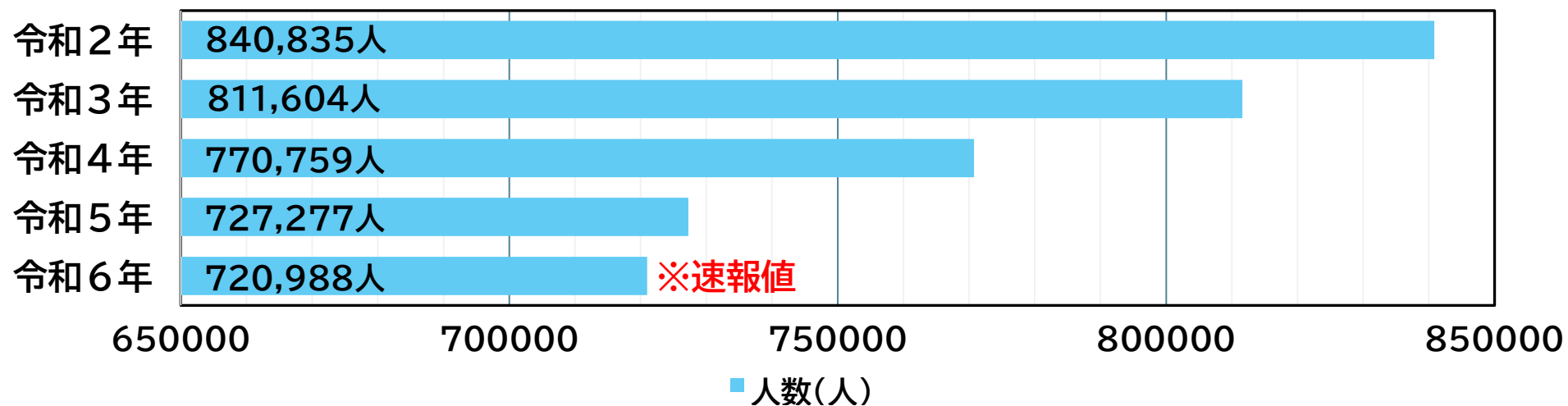


出生数推移(年次)

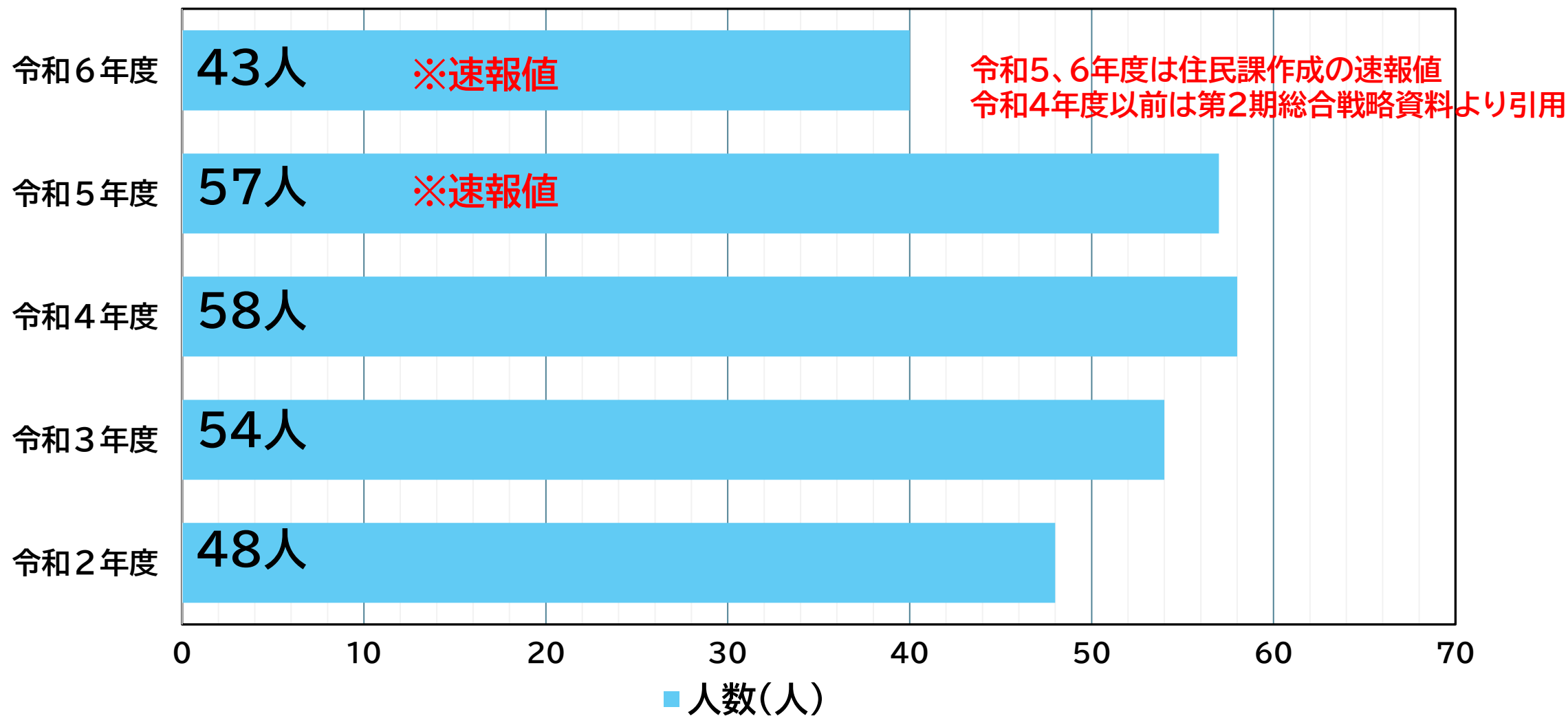
町内 戸籍年金係作成年報より引用



全国 厚生労働省「人口動態調査」より引用



出生数推移(年度)



ハートフルファースト

- ★道の駅オープンや花火大会等の人を呼び込む取組みにより、交流人口が飛躍的に増加
- ★個々人の健康増進と町内コミュニティのあり方を検証し、住み続けたい魅力ある町にすることで、「交流人口の増加」を「定住者の増加」へと展開する

道の駅とうべつ

平成29年 9月23日

開業

令和 4年 9月16～25日

5周年祭 開催

令和 5年 2月22日

セブンイレブン 開業

利便性の向上に加え、防災拠点としての役割も荒天時の一時的な避難先になるなど)

過去には、当別産大豆を使用した「きな粉あげぱん」と「白こしあんぱん」を限定販売

令和 6年 8月 9日～ 9月 8日 道の駅ルート自動運転バス実証運行

ロイズタウン駅と道の駅を結ぶルートでの実証運行

令和 6年12月 8日

年度別で初の来場者数100万人突破

【令和6年 道の駅での主な出来事】

○モルック大会 ○結婚式 ○自動運転バス実証試験

○とうべつデジタルパーク2024

○ジャージー牛乳ソフトクリーム販売開始

○町産かぼちゃを使った「味しらべ かぼちゃ」販売 等



【使用車両】

・「EVO」(右)と「ARMA」(左)

・EVOはロイズタウン駅、ARMAは道の駅をイメージしたラッピング仕様

【実証運行ルート】

・Aルート(EVO):ロイズタウン駅⇄ロイズタウン工場前

Bルート(ARMA):ロイズタウン駅▶ロイズタウン工場

▶道の駅とうべつ

ロイズタウン駅

令和 4年 3月10日 開業に先立ち記念式典

令和 4年 3月12日 開業

J R北海道としては約20年ぶりの新駅となる「ロイズタウン駅」が開業

同時に昭和9年の札沼線開業以来使用されていた駅名「石狩当別駅」「石狩太美駅」を「当別駅」「太美駅」に変更

【開業に合わせてイベント開催】

- 「ラベンダー」編成の特別列車が運行
- ロイズタウン駅舎を紹介するオンラインツアー
- 「当別鉄道の歴史展」開催



各企業との協定

包括連携協定



株式会社マクニカ

「包括連携協定」

令和5年11月16日

- デジタル技術を活用したスマートタウン化の共創に関し、相互の連携・協力関係を強化し、共同した取り組みを積極的に進める
 - ・ 新しい町の顔づくり
 - ・ MaaSによる地域活性化
 - ・ 観光資源の活用や創出 等

自動運転バス

当別駅周辺エリアでの信号協調を含めた実証運行

令和6年10月19日～11月3日まで実施

目的：車や人の往来の多いエリアで実証 → 公共交通機関としての導入可能性を検証

【使用車両】

- ・「ARMA」
- ・自動運転レベル3相当
- ・乗車定員10名（運転手1名、保安員1名、乗客8名）
- ・最高時速19.8km/h

【実証運行ルート】

- ・当別駅▶大成寺前▶商工会館前▶とうべつ学園前
▶末広団地入口▶駅前通り▶当別駅前
- ・ルート上1カ所で信号協調実施



訪日外国人を含む観光客・観光分野

観光客入込客数の推移 令和4・5年度連続162万人

年度	当別町		石狩管内		北海道	
平成26年度	423.3	千人	23,330.1	千人	133,433.8	千人
平成27年度	445.4	千人	24,505.2	千人	140,790.6	千人
平成28年度	419.8	千人	25,124.2	千人	140,992.7	千人
平成29年度	834.2	千人	26,889.6	千人	145,758.9	千人
平成30年度	1,185.3	千人	28,716.1	千人	145,880.7	千人
令和元年度	1,243.1	千人	27,226.5	千人	143,879.9	千人
令和2年度	1,013.6	千人	13,355.6	千人	81,062.9	千人
令和3年度	1,037.3	千人	15,773.1	千人	85,331.9	千人
令和4年度	1,625.4	千人	23,241.5	千人	122,298.4	千人
令和5年度	1,625.6	千人	28,613.9	千人	146,185.6	千人

○令和4年の観光客増の主な要因

- ・ 3月 ロイズタウン駅開業
- ・ 4月 ロイズタウン直売所リニューアルオープン
- ・ 11月 カカオアンドチョコレートタウンプレオープン

○令和5年の観光客増の主な要因

- ・ 8月 ロイズカカオアンドチョコレートタウンランドオープン

訪日外国人数「伸び率全国1位」

※地図アプリ「ジャパントラベル・バイ・ナビタイム」の使用データ分析による
○2019年と2023年の比較（いずれも1月～5月） ⇒ 70.6倍（全国1位）
○2023年と2024年の比較（いずれも6月～8月） ⇒ 21.0倍（全国1位）

観光客の本町地区への誘導事業

- 「伊達歴史ツーリズム」の造成
 - 【概要】観光庁の補助メニューである「地域観光新発見事業」に申請し、認可を受けた当主が自ら移住し家臣とともに開拓にあたり、没後は神様として祀られた当別町の稀有な歴史に着目
 - 【現状】2024年10月に専門家に体験してもらい意見をもらう「専門家招へい事業」を実施。2024年11月、12月の4日間、台湾、中国、韓国からモニターを募りツーリズムを体験してもらい感想をフィードバックしてもらう「モニターツアー」実施

SNSを活用した知名度UP

- 当別町観光協会のSNSにイベントや飲食店情報などをアップする回数を増やす
- 町内外でのイベントにて、当別町観光協会SNSをフォローした人にプレゼントを渡すことでフォロワー増を図る

2021年から2024年12月現在で、インスタグラムのフォロワーが1,500人から6,500人と3年間で5,000人増加した。

医療機関誘致

診療科目の拡大・検査体制の充実

近年の町内医療機関の減少に危機感

令和3年12月に医療機関誘致条例を制定

支援策を講じて医療機関を誘致

令和4年9月28日	さいわい内科消化器クリニック	開院
令和4年12月1日	スウェーデンヒルズ耳鼻咽喉科	開院
令和5年6月12日	当別あんしんクリニック	開院

災害に対する備え

防災セミナー

当別町に在住、または勤務している方を対象に防災対策に関するセミナーを開催

防災マップを活用した講演と、グループ毎に災害の備えや行動について考えるワークショップを開催

防災出前講座

町内会等が主催する集会等に、町職員が出向いて講習を行う「防災出前講座」を開催している

座学や訓練を通して、一人ひとりの防災知識を高め、地域防災力を強化



実技訓練



図上訓練

令和6年度 当別町防災セミナー



講師 及川 太美夫氏
おいかわ たみお

「普段の暮らしの中にある
“備え”を発見」
～今だからいざ！に役立つもの・こと探し～

開催日時：11月24日（日）
13：30から16：30まで

開催場所：総合保健福祉センター
「ゆとろ」多目的ホール

対 象：当別町に在住、勤務している方

セミナー内容

講演：【我が町に起こりうる災害】
～防災マップから災害を知り、被害の軽減を考えよう～

ワークショップ：【想像から備えの創造へ】
～災害を想定し知恵と工夫で「いざ」に備えよう～

申込み

QRコードからお申込みください。



問合せ

当別町総務部危機対策課
TEL:0133-23-3801
Mail:kiki@town.tobetsu.hokkaido.jp

各企業との協定

「地域の安心・安全」に向けた協定



明治安田生命保険相互会社

「健康増進に関する連携協定」

令和3年10月22日

三井住友海上火災保険株式会社

「水害時における損害調査結果の提供に関する協定」

令和4年9月29日



航空自衛隊当別分屯基地

「大規模災害発生時等における派遣隊員の隊員家族の
支援に関する協定」

令和5年3月24日

佐川急便株式会社

「災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定」

令和5年5月23日



不妊治療・歯科健康診査

不妊治療の経済的負担を軽減

令和5年4月1日以降に開始した医療保険適用の不妊治療と併用して実施された医療保険対象外となる先進医療に係る治療費の一部を助成

厚生労働省が告示している先進医療			
子宮内膜刺激術 (SEET法)	タイムラプス撮影法による受精卵・胚培養	二段階胚移植術	子宮内膜擦過術 (子宮内膜スクラッチ)
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術(PICSI)	子宮内膜受容能検査1 (ERA)	子宮内細菌叢検査1 (EMMA/ALICE)	子宮内細菌叢検査2 (子宮内フローラ)
子宮内膜受容能検査2 (ERpeak)	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選別術(IMS1)	膜構造を用いた生理学的精子選別術(Zymot)	タクロリムス投与療法
着床前胚異数性検査	令和5年12月1日現在の情報です。今後追加される場合がありますので、厚生労働省のホームページをご覧ください。		



妊婦・成人・後期高齢者を対象に歯科健診を実施

令和6年6月より、下記の歯科健診をスタート（令和7年3月31日まで）。対象者は実施期間中に1回助成を受けられる。

○妊婦歯科健康診査（無料）

妊娠期はホルモンバランスの変化により歯肉炎にかかりやすく、また、妊婦が歯周病に罹っていると低体重による出生や早産になるリスクが高まる

○後期高齢者歯科健康診査（500円）

歯・口の衰えは健康への悪影響を招き、フレイルにつながる

○成人歯科健康診査（500円※生活保護世帯の方は無料）

歯周病予防をはじめとした口の健康管理の促進を図る。当該年度の対象年齢を公式HPや広報誌でお知らせ。

外国籍住民との共生

増加する日本語の話せない外国籍住民との共生

かつての外国籍住民

多くが医療大学の学生や留学生
日本語を一定程度話せる

近年の外国籍住民

日本語を話せない方が増加

共生に向けた取り組み

町の生活習慣に沿って日常生活を過ごすために必要な措置について講じていく予定

○日本語の話せない外国籍住民に対する情報発信・提供のあり方を整理

▶ 町のホームページにグーグル翻訳などを活用したページを作成し、転入手続きの際、
アクセス可能なQRコード等を記載した『**ライフサポートカード**』を配布

クオリティファースト

★当別町が有する潜在能力や優位性を見極め、
産業の質を更に高めるための仕組みを再構築

農業10年ビジョン

第1期当別町農業10年ビジョン（平成28～令和6年）

儲かる農業を次代に引き継ぐために、JAなど農業関係団体と連携し、輪作体系の確立、高収益作物の作付拡大、担い手対策を重点的に推進

- ・農業従事者の急速な減少、燃油・資材価格の高騰
- ・水田活用の直接支払交付金の見直し

●厳しさを増す農業情勢に柔軟に対応するため、ビジョンを見直し

第2期当別町農業10年ビジョン（令和6～15年）

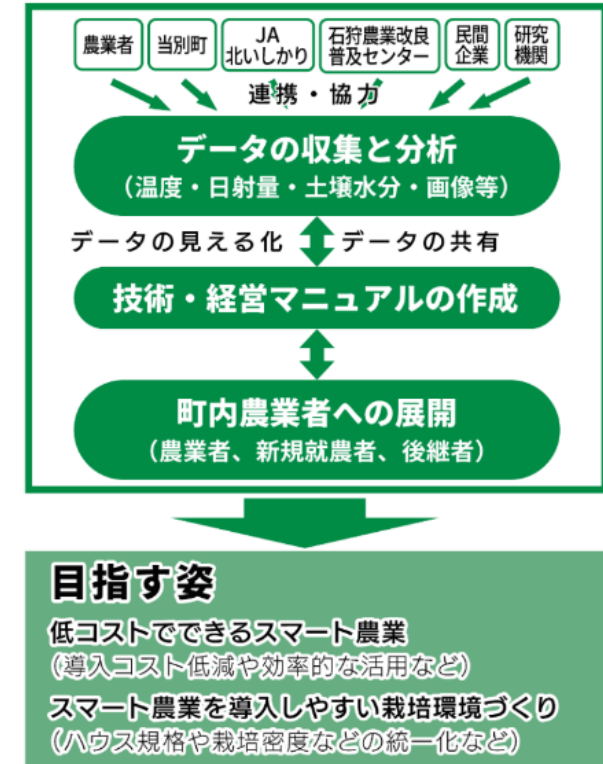
農業者の経営の安定化を基本に、「スマート農業」、「農業経営の法人化」、「6次産業化」、「環境保全型農業」を重点施策に位置付け、意欲的に取り組む農業者の支援を強化

スマート農業

花き栽培におけるスマート農業実証事業

担い手減少や高齢化に伴う人手不足解消に向けて、データの収集と分析を行いマニュアル化する取組みを進める

取組のイメージ



担い手確保推進事業

【事業概要】

当別町農業総合支援センターはJA北いしかりが中心となり、当別町を含め農業関係9団体で令和元年11月に設立。町は運営に要する経費の一部を負担するほか、支援センターの研修期間に地域おこし協力隊農業支援員制度を活用して、新規就農まで安心して研修できる体制を構築。

【新規就農者実績と予定】

	品目	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
A氏	水稻・花き	新規就農(国補助活用)								
B氏	施設・露地野菜	新規就農(国補助活用)								
C氏	酪農				新規就農(国補助活用)					
D氏	水稻・花き他		地域おこし協力隊			雇用就農(国補助活用)				
E氏	水稻・小麦他		地域おこし協力隊			雇用就農(国補助活用)				
F氏	花き		地域おこし協力隊			新規就農(国補助活用)				
G氏	花き		地域おこし協力隊			雇用就農(国補助活用)				

ゼロカーボン推進

2050年ゼロカーボンを目指して（化石燃料に頼らない町づくり）

○令和6年3月 地球温暖化対策実行計画を策定、「2050年ゼロカーボン」を目指す

○令和5年4月 環境省、脱炭素移行再エネ推進交付金の重点対策加速化事業地域に認定
令和10年までの交付金を活用して、町の再エネ化を加速

木質バイオマス



西当別小学校・西当別中学校
とうべつ学園

小水力発電



当別ダム小水力発電の
実現に向けた取り組みを推進

太陽光発電



自家消費型太陽光発電
の推進

技術開発

道総研と協力し、技術開発を推進
・チップの高品質化
・地中熱利用の低コスト化
・エネルギーの面的利用

地中熱利用



道の駅・ロイズタウン駅
おとぎのくに

今後の展開

- 太陽光発電のPPA活用促進
- 以下の項目についての検討
 - ・グリーン人材の育成
 - ・系統用蓄電池
 - ・誘致企業等へのグリーンエネルギー供給
 - ・水素利用

2050年ゼロカーボンを目指すまちのイメージ図



各企業との協定

「ゼロカーボンシティ実現」に向けた協定



三井物産株式会社
エネルギー・健康増進・地域振興などの分野について
「連携・協力に関する協定」
令和3年11月8日

三菱商事株式会社
小水力発電を中心とした再生可能エネルギー・地域振興の分野について
「連携・協力に関する協定」
令和4年1月7日



デジタルファースト

★個別の施策の基盤としてデジタルシフトを図る

★行政システムのDX推進

→ 先述の3つのファーストを高い次元で実現

デジタル田園都市構想

関連法案と経緯

- デジタル庁設置法 施行（令和3年9月1日）
- デジタル田園都市国家構想基本方針が閣議決定（令和4年6月7日）

これらの国の動きを受け

- 「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」を改訂（令和5年3月）

戦略プランⅤ：デジタル基盤の構築

- 総合戦略に5つ目の戦略プランとして追加
- デジタル技術を活用して既存の4つの戦略プランを推進
- これらを支える技術として、インフラやデータ基盤の構築や自治体DXを推進

定住人口減少克服・地方創生の実現



デジタル技術の活用（実装）

デジタル技術を有効なツールとした施策を展開



総 合 計 画

総合戦略 戦略プラン（基本目標）

戦略プランⅠ

産業力の強化
～しごとの創生～

戦略プランⅡ

人を呼び込むまちの再生
～魅力の創生～

戦略プランⅢ

未来を担う子どもの育成
～ひとの創生～

戦略プランⅣ

住み続けたいまちの形成
～まちの創生～

戦略プランⅤ デジタル基盤の構築

～デジタル田園都市「Tobetsu “DIGI” town」の創造～

行政システムのDX化

リモート相談窓口

令和5年10月2日、札幌市役所1階に、当別町の各種行政手続きの質問や相談ができる「リモート相談窓口」を設置。

役場やゆとりに通うことが難しい町外勤務の方をはじめとする町民の利便性を向上させる。

市町村をまたいだリモート窓口開設は初。

当別町役場、ゆとろ、西当別支所、札幌市役所の各ブースからオンラインで職員に相談することが可能

コンビニ交付サービス

令和5年12月22日から開始。

マイナンバーカードを利用して、全国各地のコンビニ等のキオスク端末（マルチコピー機）で証明書を取得可能になった。

チャットGPT活用

令和5年7月21日、禁止事項等を明記したガイドラインを定めたうえで、全庁で「チャットGPT」を業務に使う実証試験を開始。

全庁での試験導入は道内初

実証試験で**一定の利用**（1日平均81回）と**業務効率化**（議事録作成1時間短縮等）があり、情報漏洩などのトラブルはなかったことから、令

和5年10月1日に本格導入

デジタルデバйд対策

高齢者スマホ教室

【令和4年度】

- NTTドコモと連携
- デジタル活用支援推進事業交付金を活用して高齢者スマホ教室を実施
(町内会場で30回開催、延べ190人が参加)

【令和5年度】

- NTTドコモとソフトバンクと連携
- 高齢者クラブとも連携し町内会館でも開催
- デジタル活用支援推進事業交付金を活用して開催
(ふれあい倉庫で5回、町内会館で8回開催、延べ121人が参加)
- ふれあい倉庫では、住民票のコンビニ交付方法も説明



デジタルパーク

令和6年8月9日～9月8日までの期間、道の駅とロイズタウン駅前にて「とうべつデジタルパーク2024」が開催

- 太美地区で2台の自動運転バスを実証運行
- 道の駅ではタッチレスラクティブ（体の一部をセンサーに反応させると画面上にエフェクトを表示）の体験や、無人販売機などを設置。
世界的なダンサーである蛸名健一さんが、ダンスと非接触デジタル映像を組み合わせたパフォーマンスを披露



各企業との協定

「デジタル化」に向けた協定

東日本電信電話株式会社

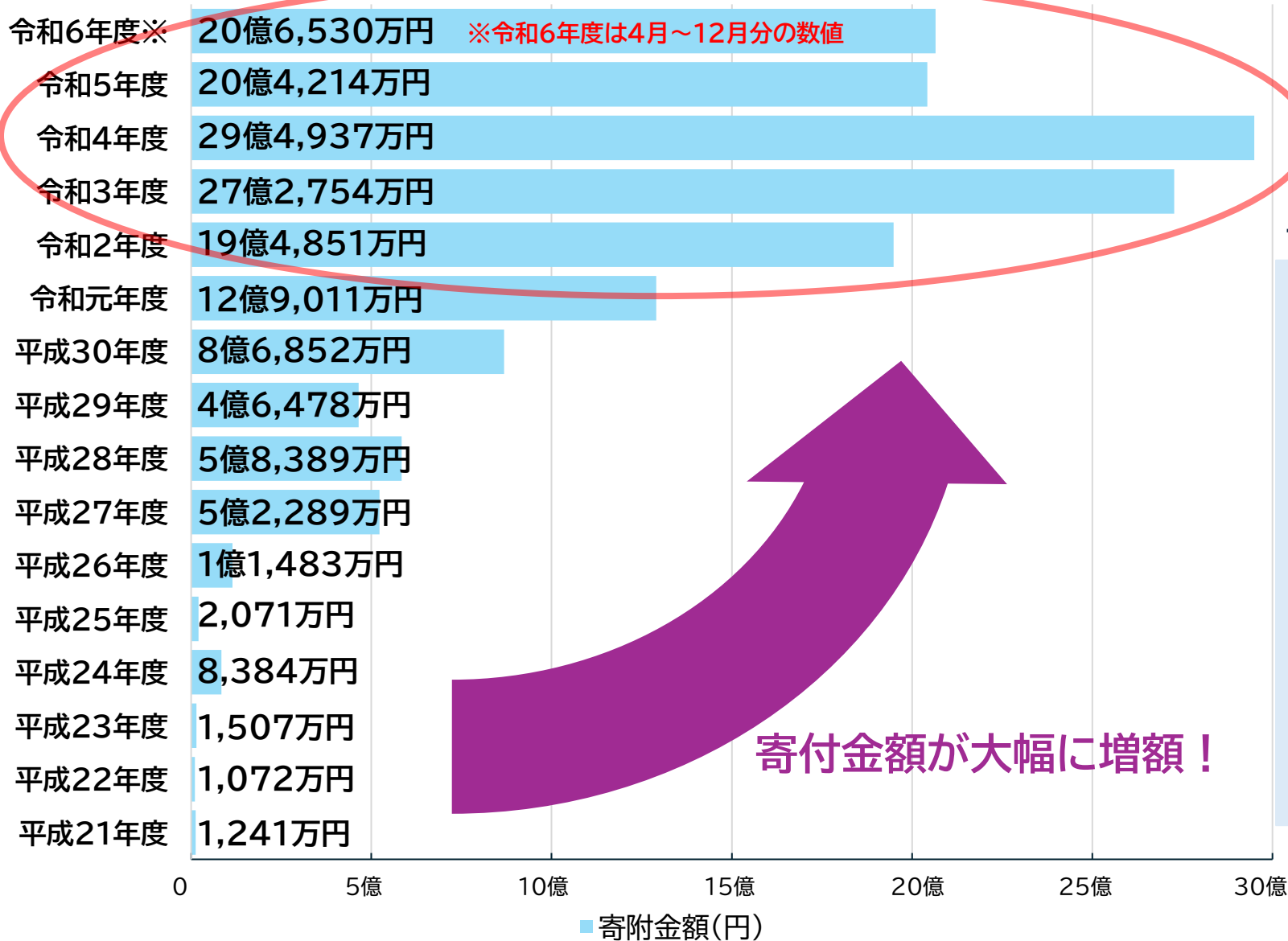
「デジタル田園都市の
実現に向けたパートナー協定」

令和3年11月15日



その他の施策

ふるさと納税寄付実績



寄付金の主な活用事業（令和5年）

新築住宅購入支援金事業 5,960万円

除排雪の推進 8,000万円

小中一貫教育推進事業 1,542万円

（総事業費のうちふるさと
納税寄付金分のみを記載） 等

合計8億9,592万527円を
44事業で活用

サツドラ当別太美店・とうべつEZOCA

道内初の自治体窓口併設店

企業誘致の取り組みが実り、サツドラ当別太美店を誘致

令和6年6月23日開業、店舗内に当別町役場西当別支所を開設

併せて「とうべつポイントカード会」と連携し、同会が発行するポイントカードを「とうべつEZOCA（エゾカ）」に移行道内のサツドラで「とうべつEZOCA」を提示すると、代金の一部が当別町に還元される



西当別支所開設

西当別支所開設

住民サービスの充実を目指して

令和6年7月1日より、サツドラ当別太美店に西当別支所を開設
従来の太美出張所の機能を大幅に拡充して、町民の利便性が向上

- ・取扱業務の増設
- ・キャッシュレス決済の導入
- ・授乳室やキッズスペースの設置



授乳室



キッズスペース



リモート相談窓口 (個室)



リモート相談窓口

北海道医療大学移転

医療大学移転

令和5年9月に医療大の北広島市への移転計画が明らかになり、町内16団体と連名で慰留を求める要望書を提出

令和6年5月末、学校法人東日本学園の鈴木英二理事長が来庁 移転計画に変更がない旨を示された

関係団体と調整

令和6年6月頭、関係団体との会合を開き、町の意向を説明

定例町議会で慰留断念を発表

令和6年6月14日、定例町議会で慰留断念を表明

対応(町内移住の促進・地域経済の活性化のために)

アパート・マンション引越応援事業

令和7年1月1日以降に単身で転入し、民間の賃貸アパート・マンションに居住される方に当別町共通商品券（5万円分）を贈呈

市街地空き店舗等活用促進事業

	補助率	上限額
商業地域	2/3	300万円
上記以外の地域 (第一種低層住居専用地域を除く。)	1/2	100万円

市街地で空き店舗等を活用し、店舗・事務所を新たに開設される事業者に、開設に係る費用の一部を補助

企業誘致

積極的な企業誘致活動

北海道医療大が令和10年に北広島市へ移転することを受け

企業誘致パンフレットを刷新

大学の建物に関する情報などを提供するチラシも作成

首都圏などで開かれる企業誘致セミナーで配布し、
道内外に広くPR



当別町新庁舎建設検討委員会

令和3年度

当別町庁舎建設基本構想（素案）を基に令和4年2月から検討を開始

令和4年度

【**庁舎規模の適正化**の検討（結果）】

面積規模の再検討、兼用化の検討により必要面積を 5, 140 m²（基本構想(素案)）から 4, 597 m²まで縮減し、事業費の削減が可能と整理

【**既存施設を活用した分散配置**の検討】

N T T 当別ビルへ執務室の一部分散や倉庫機能の分散により、庁舎の新築面積が削減できることを確認

改修費、リース費、駐車場の確保等、今後、検討が必要であると整理

令和5年度

【**既存施設利活用**の検討（結果）】

既存施設を複数活用する場合、改修や耐震安全性に伴う課題があるため、「新築のみ」または「新築＋既存施設」の活用が基本となる。

新庁舎建設時期を遅らせることも考慮した「現庁舎の耐震補強」での検討も必要。

令和6年度

【**現庁舎耐震化の可能性**の検討】

地盤調査、構造体調査、劣化調査の各調査により、現庁舎の耐震可能性を調査

調査結果を踏まえ、耐震補強プランを検討

改修・耐震化可能と判断できた場合、概算費用を試算し、現庁舎の活用が有効かどうか判断する

環境活動の推進

ごみ減量化・再資源化の取り組み

令和3年に「当別町一般廃棄物処理基本計画」を策定
ごみ減量化・再資源化のために以下の取り組みを行っている

- ・紙類の回収（新聞、雑誌、段ボール、紙パック等）
- ・容器包装の回収（アルミ缶、スチール缶、ビン、ペットボトル）
- ・繊維の回収（衣類、寝具類、毛布）
- ・生ごみ堆肥化容器等の補助
- ・使用済みインクカートリッジの回収
- ・使用済み小型家電の回収
- ・使用済み天ぷら油の回収

使用済み天ぷら油を燃料に

一部の車両に使用済み天ぷら油を原料とする軽油の代替燃料、
BDF（バイオ・ディーゼル・ヒューエル）を使用
令和4年度は、9,083リットルのBDFを使用

環境問題を楽しく学べるイベント「とうべつゆるエコフェス」

当別町は2050年度までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す
実現には町民一人ひとりの取り組みが不可欠

取り組みの第一歩として令和6年9月29日にエコイベントを開催

- (株)JEPLANの岩元社長と、当別町長によるトークセッション
- 環境体験コーナー（「PET循環を体験できるすごろく」や、エコカーの展示、ミツロウラップ作り等）
- 旧当別小学校にて、不要備品等のリサイクル内覧会



各企業との協定

「環境保全」に向けた協定



株式会社JEPLAN

「地域循環共生圏推進に関する包括連携協定」

令和5年10月3日

- 資源循環の推進や消費行動の変容・機運の醸成などの環境保全と経済社会の活性化
- ペットボトルを始めとした資源のリサイクルを推進
- 環境教育、啓発活動等を推進

株式会社ジモティー

「リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」

令和6年10月11日

- 循環型社会と4Rの推進、ごみ発生抑制
- 地元掲示板サイトを活用し、家庭で使わなくなった物を必要とする人へ繋げるリユース活動

姉妹都市交流

スウェーデン・レクサンド市

▼令和4年11月8日
パールエリック・ハーグベリ
駐日スウェーデン大使 来庁



▼令和5年2月20日
セバスチャン・ラーション
レクサンド市長とオンライン会議



▼令和5年2月9～24日
レクサンド市ー当別町姉妹都市提携35周年交流事業

レクサンド市の子どもたちが描いた絵画を展示

姉妹都市提携 35 周年を記念して、レクサンドと当別町の子どもたちが制作した作品を交換し展示しました。今回は、レクサンド市・オーケロー小学校の児童が描いた絵画 40 点を、2 月 9 日から 24 日までの期間にとうべつ学園、西当別小学校には 2 月 24 日から 3 月 6 日までの期間に展示しました。



▼令和5年3月3日
能化正樹
駐スウェーデン王国特命全権大使 来庁



▼令和5年3月19日
レクサンド市ー当別町姉妹都市提携35周年交流事業
オンラインでレクサンド市と演劇交流

3月19日に、レクサンド市との姉妹都市交流 35 周年を記念して、Drama Project 実行委員会による演劇交流発表会がふれあい倉庫カルチャーホールで開催され、72 名が観劇しました。オンラインで両会場が結ばれ、



当別チームとレクサンドチームが同じストーリーを演じ、観劇者はそれぞれのチームの違いを楽しみました。

▼令和7年2月12日
スウェーデン大使館
ヴィクトリア・リー大使 来庁



姉妹都市との連携強化

愛媛県宇和島市

▼令和6年7月23日～25日

第58回うわじま牛鬼まつり出席のため表敬訪問



▼令和6年6月23日

夏至祭の道の駅会場で宇和島市 岡原市長が司会を務め

「宇和島市に関するクイズ」を出題



大崎市岩出山（&仙台市）

▼令和5年5月19日～21日 仙台青葉まつり訪問



▼令和5年6月24日～25日

岩出山ロータリークラブ50周年記念事業



姉妹都市との連携強化

経済交流

○令和4年から姉妹都市の大崎市、宇和島市、
当別町の3市町で「姉妹都市合同フェア」を
首都圏で実施

令和4年・令和5年:霞が関、
令和6年:新宿



愛媛県宇和島市・宮城県大崎市・北海道当別町
伊達マーケット
姉妹都市合同イベント

藩政時代に仙台藩祖
伊達政宗公の長子
秀宗公が治めた愛媛県宇和島市、
政宗公が仙台城へ移る前に
居城を置いた宮城県大崎市、
明治維新後に岩出山伊達家主従が
移住した北海道当別町は、
「伊達」の縁で結ばれた姉妹都市です。

宇和島城(宇和島市)
大崎耕田(大崎市)
産麻畑(当別町)

2024 11/20~22 全
in 新宿三井ビルディング

特産品マーケット 時間 11:00~19:00 (最終日は~16:00) 場所 新宿三井ビルディング2階 北側イベントスペース (東京都新宿区西新宿2丁目1-1)

各市町の特産品を販売

宇和島市

柑橘、柑橘加工品
(ジュース、ジャムなど)
真珠製品(※)、みま米、など
※真珠アクセサリーの
修理も承ります。



宇和島市
おすすめ!

みかん詰め放鹽販売
さつまいも・里芋の産直販売

大崎市

ずんだ餅、しそ巻、
新米、かりんとう、
日本酒 など



大崎市
おすすめ!

ささ詰 5kg・10kgの配送対応販売

当別町

ロイズ商品、
麺類、菓子 など



当別町
おすすめ!

生チョコレートを含む
ロイズ商品の販売